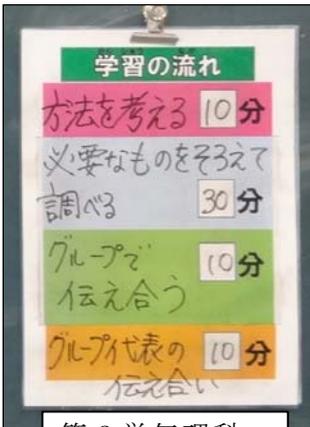


集団での関わり合いをうながすための個に対する支援の具体例

○時間配分表



第6学年理科



第2学年算数科



タイマーと併用して

時間配分表を提示することで、活動の見通しをもつことができた。

○選択できる練習問題例（第2学年「たし算とひき算のひっ算(2)」）

たし算とひき算のひっ算(2) ひき算② 9月 日()

名まえ()

どんどんコース

ひっさんをしましょう。

① $\begin{array}{r} 139 \\ - 48 \\ \hline \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 117 \\ - 35 \\ \hline \end{array}$

③ $\begin{array}{r} 126 \\ - 73 \\ \hline \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 165 \\ - 81 \\ \hline \end{array}$

かんべきコース

けいさんのしかたをせつ明しましょう。

先にするほうに○をつけてスタート!

$\begin{array}{r} 104 \\ - 91 \\ \hline \end{array}$ ①

②

③

今日学しゅうしたことのもんだいを作って、せつ明をかいてときましょう。

①

②

③

練習問題を選択できるようにすることで、本時の学習内容が理解できている子どもも意欲的に問題に取り組むことができた。

○学習内容を活用する活動

自分の学校の周りの地図を使って、駅から家までの距離を調べる。



学習したことを活用する活動を行うことで、ほかのものも調べてみようというおもいをもつことができた。

○伝え合いの話型シート例（高学年用）

項目	話し方（気を付けること）
①学習問題ときっかけ（予想と理由）	「今日は、○○をしました。」 「そのきっかけは、～に疑問をもったからです。」 「私は、『～でないか』という予想を立てました。」 「理由は、～だからです。」
②観察や実験の方法	「～の条件を変えて調べました。」 「そろえる条件は～です。」 「～の変化を調べました。」
③データの確認	「結果は…でした。」 (図、表、グラフ、数値などを示しながら)
④他グループの結果との関連付けや検討	「他のグループと比べると、～（共通点は・違いは）です。」
⑤結論	「これらの結果から～ということがわかりました。」 「予想通り（ちがって）、～でした。」 「予想とちがったところは、○○です。」 「つまり～です。」（まとめる） 「たとえば～です。」（例を示す）
⑥生活との関連	(これまでの学習や、身の回りの事象と関連させて考える)

①～⑥の順番で必要な内容を選び、伝える。

話型を示すことで、安心して話すことができた。

(参考資料：京都市教育委員会「言語活動の充実に向けた研修資料 II 4 理科」)